

学校支援本部ってなんだろう新聞

第四号

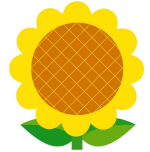
平成25年7月10日発行

発行：杉並区学校支援本部運営委員会「制度周知・育成部会」

(事務局)杉並区教育委員会事務局学校支援課

杉並区阿佐谷南 1-15-1 TEL 3312-2111 (内) 1643

Eメール gakko-sien@city.suginami.lg.jp



学校支援本部ってなんだろう新聞の発行にあたって
この新聞は、本部関係者のほか、教職員、PTAを対象に発行しています。増刷は大歓迎です。
また、お読みいただいた皆様から寄せられる声をエネルギーとして、年三回発行しています。
ちょっとイイ話、困ったこと、提案など、どしどしお寄せください。

編集長提案！ 学生ボランティアを育てよう

学校支援本部の活動で、「学生ボランティア」が非常に有効なサポーターとなることは、日々活動されている本部員が感じられていることでしょう。小学生にとっては「お兄さん」「お姉さん」、中学生にとっては「先輩」として、勉強やスポーツ、レクリエーションに身近な存在となっています。一方、学生ボランティアにとっては教職・保育士に限らず、社会人としてこれから巣立っていくにあたり、児童生徒とのふれあい、本部の世代を超えたスタッフとの交流、学校現場の目に見えない大変さを体感する貴重な経験となっています。本部でのボランティア活動を通じて、言葉使いや気遣いなど社会人としての振る舞いや、自分の進む道を探し当てる「道場」となることを願って、学校・地域コーディネーターは学校のニーズ、学生の意欲をつないでいくことが大事だと思います。

かつての児童、生徒が大学生になって本部や授業のサポートに入ってくれるようになってきました。彼らの成長もまた、本部活動を続ける醍醐味でありモチベーションとなっています。学校関係者や本部のスタッフが、「学生ボランティアを育てる」意識を持って働きかけをしていけば、意欲ある学生は次第に集まってきます。

あなたの本部の「学生ボランティア」の活躍や関わり、どうなっていますか？ぜひ情報をお寄せください！

次号で課題や展望を共有しましょう。

編集長 方南小学校支援本部・大嶋正人



方南小・学生ボランティア活動風景



地域に広がる本部活動
地域ボランティアへの呼びかけの
秘策を紹介します



堀之内小学校支援本部

堀小子どもフェスティバルを手伝ってくれている町会の方が、シニア読み聞かせの会「りぶりんと杉並」で活動されていたことから、本部の教育課程内活動である1、2年生の読み聞かせへの協力を呼びかけました。毎週金曜朝8:25から8:45までの間、6クラスに分かれてご支援いただいています。日頃、乳幼児向けの活動が多いシニアの皆様ですが、真剣なまなざしで生き生きと聞く低学年対象の読み聞かせを楽しみにしてくれています。

(学校・地域コーディネーター：井上さん)

学校・地域コーディネーターとは

24年度教育委員会主催の研修会(全8回)を修了した方々が、「学校・地域コーディネーター」として活動をはじめました。その役割は以下の通りです。

本部内の取組みや関係者をつなぎ、課題調整する教育課程内の取組み等、学校との連携を密に行う他の本部との情報交換等を行い、活動に活かす本部の制度や活動を、地域や学校に広く発信する

高井戸第四小学校支援本部

高四小の本部は、主に保護者OB等をメンバーとしてスタートしました。本部は、学校の要望に応じて学校を支援するのが役割ですが、その内容は、安全パトロールや読み聞かせのような保護者が集ってできるものだけでなく、専門知識を持つ人材を必要とするものが多くありました。「学校公開があるので花壇を作りたい」「運動会の看板は太筆の書体がいい」「HPを更新する技術と暇がない」「学生さんに授業を手伝ってほしい」「囲碁将棋を教えてほしい」。どれも保護者OBだけでは不可能そうな専門的な要望ばかり。本部の定例会では、区の花咲かせ隊にいい人はいないが、ゆうゆう館に囲碁将棋部はないか、近くに書道教室の看板があるね、などの意見が出ました。手分けしてお願いしたところ、高四小と関係がなかった方も「ご近所づきあいだから」と各事業部に入ってくれました。

学校を中心に、町内に新しいお知り合いと結びつきが出来始めています。

(学校・地域コーディネーター：多々納さん)

～第一回分区連絡学習会～開催速報!

6月から7月にかけて、4つの中学校区分ごとに、分区連絡学習会を開催しました。

意見交換会では、ボランティアやゲストティーチャーの探し方、学校や地域との連携、支援本部と他の学校支援機関との役割分担等について、熱い議論が交わされました。

「ボランティアを集めるには、日頃から支援本部員が楽しそうに活動することが大切だ」

「地域との連携のためには、地域に、まず学校に興味を持ってもらうことが必要では」

等、様々な意見が出ました。

第2回の分区連絡学習会では、学校の先生方を交えた意見交換会を予定しています。

運営委員会「検証部会」報告

6月17日(月)、平成24年度活動報告書を基に、5人の委員で検証部会を開催しました。主な意見は次のようなものです。

- ・区からの説明、研修等の実施により基本線の活動は浸透しつつあり、取組の多様性がうかがえる。
- ・教育課程内活動支援を全くしていない本部がある。教員からのニーズがないのか、学校支援本部側が対応できないのか。前者であれば、校長会等で支援本部の役割を周知し、後者であれば、学校側に協働の意識を高めて欲しい。
- ・図書館司書の配置により、図書館整備や読書活動支援が活発になった。
- ・分担金は、謝礼金、消耗品の支出の割合が様々であるが、本部の活動目的を踏まえながら、有効に活用してほしい。